

令和7年5月12日

新規／

重要文化財・旧三上家住宅で歴史講座を開催します。

～天橋義塾開校 150 年！ 近世から近代まで宮津の歴史を総まくり～

令和7年は、近代丹後の教育を担い、自由民権運動の拠点として全国に知られた天橋義塾の開校から 150 年となる記念の年です。宮津市教育委員会、京都府立丹後郷土資料館では、重要文化財・旧三上家住宅を会場として、近世の城下町から近代宮津への展開をたどる歴史講座を開催し、天橋義塾が果たした役割を探ります。

事業名

天橋義塾開校 150 周年記念事業 連携企画
旧三上家住宅歴史講座、丹後郷土資料館文化財講座「城下町から近代宮津へ」

日時と内容

5月24日（土）から10月25日（土） 全6回（詳細は「別紙1」参照）
午後3時30分から午後4時30分

会場

重要文化財・旧三上家住宅
※受講者は入館料無料（参加費、事前申込不要）

その他

- ・車でお越しの方は、「道の駅 海の京都 宮津」をご利用ください。
- ・関連事業「宮津城下町デジタルマップウォーク」を開催。
宮津城下町デジタルマップ（GPS 連動再生古地図）、多言語解説を活用したウォークイベントを開催します（詳細は「別紙2」参照）。
日 時：5月24日（土）午後1時から午後3時20分（旧三上家住宅にて解散）
集合場所：道の駅 海の京都 宮津
参 加 費：無料（予約不要）

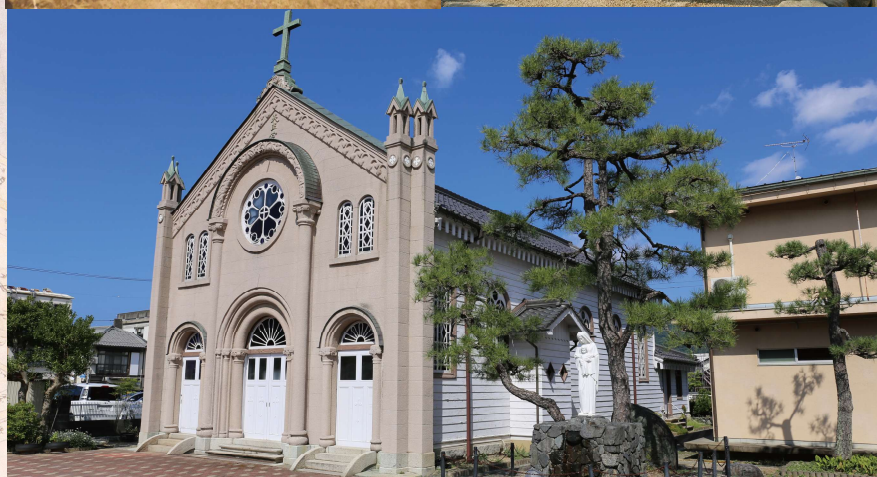
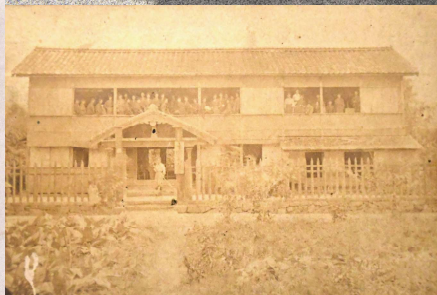
【担当者のコメント】

講座を通じて、幕末維新の激動の中、新しい時代を切り開こうとした先人たちの奮闘を、是非、感じてください。

お問い合わせ先

教育委員会事務局 / 社会教育課

TEL : 0772-45-1642



天橋義塾開校150周年記念事業 旧三上家住宅歴史講座・丹後郷土資料館文化財講座 城下町から近代宮津へ

会場 重要文化財旧三上家住宅

時間 15時30分から16時30分

参加無料・事前申し込み不要 ※受講者は入館料無料

令和7年は、近代宮津を支える多くの人材を生み出した

天橋義塾の開校から150年。

幕末から近代へと変わりゆく激動の時代の宮津の姿を紹介！

- 第1回 5月24日(土) 「近世から近代の宮津をあるく」
- 第2回 6月28日(土) 「宮津城下の絵画と絵師」
- 第3回 7月26日(土) 「宮津城下町の成立と寺町」
- 第4回 8月23日(土) 「幕末維新と三上家」
- 第5回 9月27日(土) 「天橋義塾の開校と教育」
- 第6回 10月25日(土) 「自由民権運動の群像とその終焉」



※お車でお越しの方は、市営立体駐車場をご利用ください

主催 宮津市教育委員会、京都府立丹後郷土資料館

後援 NPO 法人天橋作事組

◆関連イベント

宮津城下町デジタルマップウォーク

江戸時代の城下町絵図と現代の地図を連動させたデジタルマップを使って学芸員と一緒に宮津の町を散策。

GPS で現在地を確認しながら、江戸時代の宮津の城下町にタイムスリップしよう！

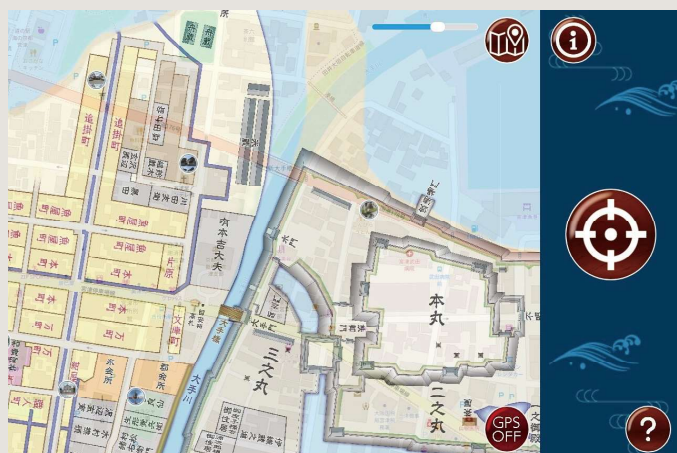
日時：令和 7 年 5 月 24 日（土）
午後 1 時から 3 時 20 分まで

集合：道の駅 海の京都 宮津

定員：事前予約不要・参加無料

お問合せ：宮津市教育委員会
社会教育課文化財保護担当
TEL: 0772-45-1642 / MAIL: b-shinkou@city.miyazu.kyoto.jp

※お車で越しの方は市営立体駐車場をご利用ください。



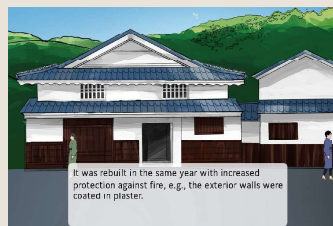
文化財多言語解説&宮津城下町デジタルマップ

宮津地区に所在する 4 つの国指定・登録文化財の魅力を日本語、英語、フランス語、中国語（簡体・繁体）、韓国語で紹介する多言語解説を整備。各場所に設置した看板で二次元コードを読み込むと、デジタルアニメーションなどの解説を楽しむことができます。

また、宮津城下町デジタルマップ（GPS 連動再生古地図）は、江戸時代の宮津城下町の絵図と現代の地図を連動させ、GPS で現在地を確認しながら江戸時代の宮津の城下町を楽しむことができます。

◆二次元コード看板的設置場所◆

旧三上家住宅（重要文化財）
宮津洗者聖若翰天主堂（重要文化財）
清輝楼（国登録文化財）
茶六本館（国登録文化財）



It was rebuilt in the same year with increased protection against fire, e.g., the exterior walls were coated in plaster.



文化財多言語解説



宮津城下町デジタルマップ

天橋義塾とは？

天橋義塾は、今から 150 年前の明治 8 年（1875）に宮津に誕生した宮津藩校・礼讓館の流れを汲む私塾です。

明治初期の宮津では、廃藩置県により職を失い困窮する旧藩士子弟の教育に大きな課題を抱えており、小笠原長道（後の小室信介）をはじめとする旧藩士有志達を中心となり、旧藩士子弟の育成を目指し、宮津学校内の西南隅一舎に間借りをして開校しました。

天橋義塾では、初期の普通学科では読物討論（読講）、問答、作文、算術の四科目があり、教科書は礼讓館から引き継がれた和漢書に加え、自由や民権に関する最新の著作、法律や地誌など様々な分野の外国書籍などが用いられていました。

明治 10 年に資本講を開始し、商人や豪農の出資を受けて運営が軌道に乗ると、新たに英文科が開設されるなど更なる教育の充実が図られました。先進的な教育が行われる中で、天橋義塾は京都の自由民権運動の中心的存在へと成長しました。特に明治 13 年には澤辺正修を中心に憲法草案を作成し、全国の注目を集めました。

天橋義塾開校 150 周年記念事業 連携企画

旧三上家住宅歴史講座・丹後郷土資料館文化財講座「城下町から近代宮津へ」

【開催要項】

1 趣 旨

令和 7 年は、近代丹後の教育を担い、自由民権運動の拠点として全国的にも知られた天橋義塾の開校から 150 年となる記念の年です。

天橋義塾の資料は、丹後郷土資料館、宮津市教育委員会に保管されており、今回の講座では、こうした資料を紐解きながら、天橋義塾の前史となる江戸時代の宮津城下町から近代宮津の歴史をたどることで、天橋義塾が果たした役割を探ります。

幕末維新の激動の中、新しい時代を切り開こうとした先人たちの奮闘を、是非、感じてください。

2 主 催 宮津市教育委員会、京都府立丹後郷土資料館

後 援 NPO 法人天橋作事組（旧三上家住宅指定管理者）

3 日程・内容

		演題	講師	備考
第 1 回	5 月 24 日 (土)	近世から近代の宮津をあるく ーデジタルマップと文化的景観ー	河森一浩	歴史ウォーク 同日開催
第 2 回	6 月 28 日 (土)	宮津城下の絵画と絵師 ー京都画壇と天橋立ー	杉田真菜 (丹資)	丹後郷土資料館リ ニューアル報告
第 3 回	7 月 26 日 (土)	宮津城下町の成立と寺町	東高志	
第 4 回	8 月 23 日 (土)	幕末維新と三上家	鶴岡衛大	丹後郷土資料館リ ニューアル報告
第 5 回	9 月 27 日 (土)	天橋義塾の開校と教育	鶴岡衛大	
第 6 回	10 月 25 日 (土)	自由民権運動の群像とその終焉 ー明治 20 年代 新たな時代へー	河森一浩	丹後郷土資料館リ ニューアル報告

いずれも、午後 3 時 30 分から 4 時 30 分

4 関連イベント

第 1 回（5 月 24 日）の講座では、同日に「宮津城下町デジタルマップウォーク」を開催します（別紙 2 参照）。

天橋義塾開校 150 年周年記念事業

「宮津城下町デジタルマップウォーク」

【開催要項】

趣旨：

宮津城下町デジタルマップ（GPS 連動再生古地図）、文化財多言語解説を活用して宮津地区のまち歩きを開催し、近世から近代の宮津の歴史的な展開をたどります。

日程：5月24日（土） 午後1時から3時20分

集合：道の駅 海の京都 宮津

定員：20名程度（参加費・申込不要）

日程（案）：

第Ⅰ部 歴史ウォーク（案内：河森）		
13：00	道の駅集合	
13：00 14：00	宮津城跡（道の駅→清輝楼→宮津城の石→京都宮津車道→しらかべの道（大手川）→太鼓門→細川ガラシャ銅像）	
14：00 14：30	カトリック教会	
14：30 15：00	和貴宮神社→今林家住宅→茶六本館→尾藤家住宅→旧三上家住宅	
15：00 15：20	旧三上家住宅（見学）	解散
第Ⅱ部 旧三上家住宅歴史講座・丹後郷土資料館文化財講座		
15：30 16：30	「近世から近代の宮津をあるくーデジタルマップと文化的景観ー」 河森一浩（宮津市教育委員会）	受講者は入館料無料
16：30 17：00	アフター・トーク（仮） 学芸員を囲んでフリー・トーク	会場：Kanbei Cafe 自由参加